

サポートユニット概要

■最重要部品ペアリングの性能

ペアリング種類	既存品			C-VALUE部品		
	日系JIS5級アンギュラペアリング BSW/BRW/BSA/ BSV/BSWG/BSWD/BJS			海外JIS5級相当アンギュラペアリング C-BSW/C-BRW/C-BSFW		
	Type	許容アキシャル荷重(N)	基本動定格荷重(N)	ペアリング形式	許容アキシャル荷重(N)	基本動定格荷重(N)
6	1040	2670	70M6DF/P5	720	1880	70M6DF/P5
8	1450	4400	70M8DF/P5	1010	3090	70M8DF/P5
10	2730	6100	7000DF/P5	1910	4260	7000DF/P5
12	3040	6650	7001DF/P5	2120	4660	7001DF/P5
15	3370	7600	7002DF/P5	2350	5320	7002DF/P5
20	8260	17900	7204DF/P5	5780	12490	7204DF/P5
25	9960	20200	7205DF/P5	6970	14140	7205DF/P5

(C-BSFW20の使用ペアリングは7004DF/P5になります。)

ペアリング種類	JIS0級アンギュラペアリング			ラジアルペアリング		
	BSWE/BSQ/BRWE			BSWZ/BRWZ		
	Type	許容アキシャル荷重(N)	基本動定格荷重(N)	ペアリング形式	許容アキシャル荷重(N)	基本動定格荷重(N)
6	—	—	—	780	2190	606ZZ
8	—	—	—	1300	3350	608ZZ
10	2730	6100	7000DF/並級	2300	4550	6000ZZ
12	3040	6650	7001DF/並級	2600	5100	6001ZZ
15	3370	7600	7002DF/並級	2900	5600	6002ZZ
20	8260	17900	7204DF/並級	8100	12800	6204ZZ
25	9960	20200	7205DF/並級	—	—	—

■各ペアリングの精度

外輪		単位: μm					
呼び軸受外径		平面内平均外径寸法差		ラジアル振れ		アキシャル振れ	
D	mm	△Dmp	Kea	Sea	Kea	Sea	
mm	mm	5級	0級	5級	0級	5級	0級
を超え	以下	上	下	上	下	最大	最大
6	18	0	-5	0	-8	5	15
18	30	0	-6	0	-9	6	15
30	50	0	-7	0	-11	7	20
50	80	0	-9	0	-13	8	25
						10	—

内輪		単位: μm					
呼び軸受内径		平面内平均内径寸法差		ラジアル振れ		アキシャル振れ	
d	mm	△dmp	Kea	Sia	Kea	Sia	
mm	mm	5級	0級	5級	0級	5級	0級
を超える	以下	上	下	上	下	最大	最大
2.5	10	0	-5	0	-8	4	10
10	18	0	-5	0	-8	4	10
18	30	0	-6	0	-10	4	13
						8	—

(JISB1514から抜粋)
ラジアル振れとアキシャル振れは、それぞれペアリング回転精度の測定方法を指します。
内輪のラジアル振れ(Kia)、外輪のラジアル振れ(Kea)、内輪のアキシャル振れ(Sia)、外輪のアキシャル振れ(Sea)それぞれ異なりますため、詳細はお問い合わせください。

■付属カラーサイズ

既存品	No		D	V	L	既存品	付属縮付ナットサイズ			
	6	8S	9.5	6	5		10S	12	10	5.5
C-BSW	10	8	10	8	5.5		12	10	5.5	
C-BRW	11.5	8	11.5	8	5.5		14	10	5.5	
C-BSW	12	10	12	10	5.5		15	12	10	5.5
C-BSFW	15	20	15	10	5.5		20	25	20	11
	25	31	25	15	14		25	31	25	15
	6	9.5	6	5	5		6	6	5	5
	8S	10	8	5.5	5		8	8	5.5	5
	8	11.5	8	5.5	5		10S	12	10	5.5
	10S	12	10	5.5	5		10	14	10	5.5
	10	14.5	10	5.5	5		12	15	12	5.5
	12	15.5	12	5.5	5		15	19.5	15	10
	15S	19.5	15	10	5		20	25	20	11
	15	20	15	10	5		25	31.4	25	15
	20	25	20	11	5		10S	12	10	5
	25	31.4	25	15	5		10	14.5	10	5
	10	14.5	10	5	5		12	15.5	12	5
	12	15.5	12	5	5		15	19.5	15	6
	20	27.5	20	8	5		20	27.5	20	8
	25	31.4	25	9	5		25	31.4	25	9

■付属品に関する注意点

付属品の梱包形態



付属品の中身(固定側)



付属品の中身(支持側)



●ミスミのボールねじと一緒にご使用される際は付属カラーが1つ余ります。

※付属品は組立の際に必ず必要ですので大切に保管してください！

サポートユニット組付の注意事項

サポートユニットの組付け

サポートユニットは組み付けを誤ると、寿命や精度が低下し、機械装置の性能を発揮できなくなるおそれがありますので、十分注意する必要があります。以下に、組付け時の手順と注意点をご説明します。

①組付け前の準備

組付け作業は、ゴミや湿気の無い場所を選んでください。さらに温度変化も少ないようにして下さい。清潔な場所を選び、作業台の上に必要な工具を揃えてください。

②軸、サポートユニットの点検

軸表面及び、サポートユニット軸受内蔵部にゴミや異物の付着が無いか、またバリやかえりのないことを確認ください。バリやかえりのある場合は、オイルスローン等で除去の後、切り粉等の完全除去をおこなってください。

③サポートユニットの軸への取付

・ボールねじとサポートユニットを用意。

・ボールねじ固定側にサポートユニットを挿入。

挿入時の注意点

かじらないように真っ直ぐに挿入します。

また、オイルシールのめぐれに注意。

グリースを塗ってから軸に挿入すると、スムーズになります。

・ボールねじ軸の締め付けナットは仮締め状態。

・ボールねじ支持側にペアリングを挿入。止め輪で固定。

・先端振れは小さく管理してください。

④ペアリング締付けナット取付け時の注意

①ペアリング締付けナットを軽く締付ける。

推奨締付けトルク(表参照)の1/3で締付けてください。

②ねじ軸をVブロックで支持し、AまたはBに図示のダイアルゲージを当て、ねじ軸を回しながら最も指針の振れが大きい位置を探す。

③図のようなハンマーナンマーなどを用い、前記位置でペアリング締付けナットを軽くたたいて指針の振れを少なくする。

④表の推奨締付けトルクを2~3回に分けて、③の作業を繰り返し、所定のトルクで本締め。

⑤支持側ペアリングの取付と精度確認

・テーブルを支持側ペアリングに寄せて芯出しをします。

・テーブルを往復移動させて、全体の動きがスムーズになるよう調整します。

・各部精度確認をしながら、締め付けボルトを本締め固定します。

・調整が不安定のときは、前工程を繰り返しあげます。

⑥サポートユニット取付時の注意

固定側サポートユニットに挿入する場合は、スムーズに挿入できる場合と、軽圧入(中間ばめ)になる場合があります。

軽